



認定看護師への道



手術看護認定看護師

2013年取得

手術室 山下 さおり さん

認定看護師を目指そうと思ったきっかけ

『手術看護って奥が深い…』と思いながら、気がつく手術室の配属となり15年以上の月日が経っていました。上司や周囲に勧められたこと、“きちんと根拠をもって後輩の指導や育成ができるようになりたい！手術看護の奥深さ、面白さを知ってもらいたい！”と思い、目指しました

認定看護師として活動していること

手術室で器械出しや外回り看護など日々の業務を行うとともに、認定看護師として、リーダー会議やプリセプター会議にも参加し、部署の運営に関わっています

また、市立札幌病院の手術室看護師の周術期看護の質が向上するよう部署のスタッフに向けた学習会の企画・運営を行う等、日々、努力しています！

特に、今年度は自分自身のチャレンジとして、3年目スタッフ2名の看護事例研究に携わりました。2人とも素晴らしい成果を発表してくれてとても嬉しかったです

これからの活動目標としては、自分自身が思っている“楽しい！面白い！手術看護”の部分をついとん後輩にも伝えることと、手術看護をリードしてくれるスタッフを育成していくことです

そのためにも自己研鑽をつみ、少しでも長く、現場で頑張っている姿を見てもらえたらなあと思います

(年々、年には勝てず、衰える部分も多々ありますが)



看護過程の学習会を開催

認定看護師として大切にしていること

『手術の大小にかかわらず、1つの手術が無事に終わることは決して“あたりまえ”のことではない！』と認定の教育機関で叩き込まれてきましたので、どんな手術でも無事に終わることや、それまでのプロセスにやりがいを感じます

認定看護師になってから、術後訪問が充実することを目指し取り組んでいますが、訪問時に、患者さんから「ありがとうございます」と言ってもらえると本当に嬉しいです

常に“自分だったらどうされたいか、自分の家族だったらどうされたいか”を考え、患者さんとその家族に寄り添う気持ちを忘れないことを大切にしています。手術室では、麻酔や手術操作の影響で患者さんがご自身で意志決定等が行いにくい状況が多々あります。そのようなときこそ、患者さんの立場に立ち、擁護者であり続けたいと考えています